

錦画百事新聞 第13号



大
如
是
畜
生
歸
依
二

維時明治八年壬午月

編輯 本島 吉太郎
印刷 前田 喜太郎



大阪府下松島町三目柳井某の飼犬の
甚病悪の犬を斃び社を結ひた案
此區に來り飽ふ柳井の犬を斃したる
一声五夫の諺の
ひとしく人へ是を
柳井被知
せし飼主
大お怒りや
本々應接
時移り絶へば
今夫如きを斃死牛社(持)て
多るを滑く柳井の
憤怒の牙を研ぎ
聞合は社友
其不末を濁す
諺のよきなり
心を鎮め其大供養を私島町にて行ふ
事情を社友達以の
社友雨ひ
とびて

明治八年二月五日天正寺

村中守めて
如是畜生歸依
三宝と供養也
社友尾を
たき車振り
不決
せり

如是畜生歸依

錦画百事新聞13号 文庫10-8618-15

